旭川市立末広北小学校　学校だより　令和８年１０月３０日　第５６号

北っ子

子どもたちを笑顔で迎え　笑顔にさせ
家庭・地域に帰します！

◇教育目標：人・社会・未来へつなぐ Well-being
◇重点目標：学ぶ楽しさを見つけ、よりよい考えを表現できる子の育成

after学習発表会～さらに先へ自ら芽吹く力（主体性）を育む～

校長　大　野　昌　広

深まりゆく秋、冬の足音が聞こえる頃となりました。大雪山の山頂にも雪化粧の姿が見られます。保護者・地域の皆様におかれましては、平素より本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、先日の学習発表会では、子どもたちへの温かいご声援をいただき、誠にありがとうございました。練習から本番に至る過程において、子どもたちは大きな成長を見せてくれました。本校では、今回の学習発表会を単なる成果発表の場にとどめず、今後の教育活動における重要なステップと捉え、以下の３つの視点から指導を進めてまいります。第一に、**「仲間との協働による成功体験」**です。みんなで一つの目標に向かって協力し、最後までやり遂げたという実感は、子どもたちの大きな自信となりました。この達成感を次の目標や日々の学習への意欲へとつなげてまいります。第二に、**「トラブルや葛藤を乗り越える力と人間関係づくり」**です。練習の過程では、意見の食い違いや思い通りにいかないもどかしさを経験した子どもたちもいました。こうした葛藤を仲間とともに話し合い、乗り越えた経験こそが、課題解決力や相手を思いやる良好な人間関係を育む貴重な糧となると考えております。第三に、**「今後の学習と学校生活への還元」**です。学習発表会を通じて培った「あきらめずに取り組む姿」や「仲間と協力し合う姿勢」を、これからの日常の授業や集団生活の中でも発揮できるよう、引き続き温かく丁寧な指導を続けてまいります。

学校では、学習発表会の前後に「学習と生活のアンケート」や集団生活に関する調査を実施いたしました。発表会を通じて得られた成果や課題も踏まえ、次の3つのポイントを重点課題として確認しております。これらは教職員向けに作成した方針であるため、少々硬い表現が含まれておりますが、2学期後半における末広北小学校の「学びの方向性」を示すものとなっております。保護者・地域の皆様にもご一読いただければ幸いです。

問いから始まり、データで寄り添い、DXで拓く学校へ
～「直感」を「確信」に変え、子どもの自走と教員のゆとりを創り出す～

１　「指導者（ティーチャー）」から「学びの伴走者（ファシリテーター）」への転換による教育効果の向上

知識を一方的に教え込む「ティーチャー」から、子どもの問いや対話を引き出す「ファシリテーター」への転換を図ります。従来の指導型では、学びが受け身になりがちでした。しかし、教員がファシリテーターとして一人ひとりの思考に寄り添い、問いかけや場づくりを通して学びをサポートすることで、子どもは自ら考え、主体的に学びを進められるようになります。これにより、「主体的・対話的で深い学びの実装」が実現し、課題解決能力や自己効力感の向上が期待できます。教員の役割は「答えを与える存在」から「学びを深める伴走者・ファシリテーター」です。子どもたちの可能性を大きく伸ばすアプローチへシフトしていきましょう。

２　各種調査結果等のデータ活用に基づく児童理解と指導の徹底について

各種調査やICTの客観的データを基にした指導・支援を徹底し、一人ひとりに寄り添う学年・学級経営を推進します。私たちは「この子は大丈夫」「何度注意しても響かない」といった主観的な思い込み（バイアス）で子どもを判断してしまうリスクを常に抱えています。しかし、学習・生活アンケートやQ-U検査等を客観的な指標として活用すれば、目視では見えにくい子どものSOSや感情・体調の波にいち早く気付けます。データは教員の直感を補完し、より確かな根拠を持った指導を可能にするものです。調査結果を単なる記録で終わらせず、日々の児童理解と具体的な学習指導・生徒指導へ確実に還元してください。「豊かな経験」と「客観的データ」を融合させ、誰一人取り残さない安全・安心な学年・学級づくりと早期対応を実現しましょう。

３　校務DX等の推進による「働きやすさ・働きがいのある職場づくり」

教員一人ひとりが心身ともに健康で、情熱を持って子どもと向き合うためには「働きやすさ」と「働きがい」の両立が不可欠です。校務DXによる業務効率化を進め、時間外勤務の削減や適切な休憩の確保といった「ワークライフバランス」を確立しましょう。心のゆとりはメンタルヘルスの向上に繋がり、子どもへの温かい関わりや質の高い教育活動の基盤となります。仕事の負担を減らすだけでなく、互いを尊重し合い悩みを抱え込まない組織風土を築くことで、教員自身が成長と達成感を実感できる「働きがいのある職場」を目指します。私たちが生き生きと働く姿を見せていきましょう。それが子どもたちの豊かな学びへと繋がります。

誰しも褒められることで笑顔になり、自分に自信を持つことができます。そうした褒められる経験こそが、子どもたちの大きな成長へとつながります。保護者・地域の皆様におかれましても、地域の宝である子どもたちの努力や成長の歩みをぜひたくさん褒め、温かく励ましていただけますと幸いです。今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

本物に触れやってみる体験活動

教室での日々の学びに加え、外部講師による出前授業や本物に触れる体験活動など、本校では五感を揺さぶる「体験的な学び」を大切にしています。子どもたちが目を輝かせ、試しながら深めるさまざまな学びの様子を紹介します。

3年生　バターづくり　生産工程の学習



１０月２１日（水）の３・４校時に、雪印メグミルクの方を講師に牛乳の栄養や、加工について、また、バターづくり体験を行いました。

２６日（月）は、日本ハム北海道ファクトリー旭川工場から講師をお迎えし、生産工程などを学びました。その関わりで、工場の方から、全校児童へシャウエッセン一人二本の提供があり、ボイルしたものを給食時間に全校児童でいただきました。

5年生　鷹栖神社　剣道体験



５年生は、総合的な学習の時間に「日本の文化」を学んでいます。その学習で、10 月 21 日（水）、鷹栖神社で禰宜（ねぎ）をされている五十嵐さんを招き、神社についての話を聞きました。また、22 日（木）は、啓北中の先生、２名を講師に、剣道体験を行いました。今後も、日本の魅力についての学習を進めていきます。

1年生　うずら卵の学習



１０月 22 日（木）、天狗缶詰から講師を招き、１年生が「うずら卵」について学習をしました。初めに、動画やクイズなどをしながら、うずら卵について教えていただき、次に、うずら卵の殻むき体験をしました。

マスコットキャラクター「うず太郎」ともふれあいました。

PTA　親子行事　スライムづくり

１０月 16 日（金）、PTA 親子行事「スライムづくり」を行いました。70 名ほどの参加の中、親子で相談したり、協力したりしながら、ビーカーでまぜたり、色を加えたり、思い思いのスライムをつくりました。笑顔あふれるすてきな時間になりました。この企画のために、PTA 研修部の保護者の方々には、準備や当日の運営を行っていただきました。本当に、ありがとうございました。





１１月の行事予定

２日(月)　交通安全街頭指導　全校集会
５日(木)　３年　出前授業（まちにち計画）
６日(金)　定時退勤日
９日(月)　スクールカウンセラー来校
１１日(水)　３年　校外学習（旭川駅）①
１２日(木)　就学時健診（午後）
１３日(金)　３年　校外学習（旭川駅）②
１６日(月)　学校諸費引落日
１９日(木)　委員会
２０日(金)　定時退勤日
２４日(火)　北っ子絵画展
２６日(木)　６年　陶芸教室
２７日(金)　PTA 研修部試食会
３０日(月)　全校集会